平成 24 年 10 月５日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社 マ ル マ エ
代表者名　代表取締役社長　前田　俊一
（ コード番号：6264　東証マザーズ ）
問合せ先　取締役管理部長　藤山　敏久
（ TEL. 0996-64-2900 ）

通期業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 24 年８月期（平成 23 年９月１日～平成 24 年８月 31 日）の業績予想について、平成 24 年４月３日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 24 年８月期第４四半期会計期間において下記のとおり特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

記

１．当期の業績予想数値の修正（平成 23 年９月１日～平成 24 年８月 31 日）　（単位：百万円）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	1,100	60	20	△20	△1,146.39
今回修正予想（B）	1,103	50	21	△62	△3,553.82
増 減 額（B－A）	3	△10	1	△42	
増 減 率（　％　）	0.3	△16.6	5.0	―	
（参考）前期実績（平成 23 年８月期）	1,266	5	△49	△389	△21,262.96

２．修正の理由

当社は、平成 23 年７月に成立いたしました事業再生ＡＤＲ手続における事業再生計画を実行中でありますが、当期につきましては、主な販売分野であるＦＰＤ業界と半導体業界において世界的な停滞が見られました。

そのような厳しい市場環境の中で、順調に進む事業再生計画の各種施策が奏功し、売上高と経常利益につきましては、前回予想とほぼ同額を計上する見込みとなりました。

営業利益につきましては、当初営業外費用に計画していた一部費用を一般管理費に計上した事や、新規開拓に伴い発生する見込みの費用等を受注損失引当金に計上したことなどにより減少いたしましたが、経常利益につきましては、前述のように営業外費用の減少により前回予想程度に着地する見込みとなりました。

当期純損益につきましては、下記の通り固定資産の減損損失を特別損失として計上することにより修正いたします。

３．特別損失の計上

本日開催の取締役会において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき資産の回収可能性等につき精査・検討を行った結果、資産健全化を念頭に保守的に評価し、35 百万円の減損損失を計上することといたします。当第４四半期会計期間において減損損失を計上しました資産及び資産グループは、以下のとおり本社遊休資産の建設仮勘定に計上しております電子ビーム溶接機です。

（単位：百万円）

資産グループ	用途	種類	金額
本社	遊休資産	建設仮勘定	35
合計			35

以　　上

(注)本資料に記載されている当社の業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。